

自 平成二十九年三月十一日  
至 平成二十九年六月十一日

薰

風

展  
示  
目  
録

寄付

掛

物

抱一筆

燕子花図扇面

香

合

阿媽港

了々齋在判同箱

硯

蓋

熊笹蒔繪

汲

出

藍染付

花蝶文

葎

盆

藤蒔繪

三味線胴

火

入

繪唐津

四方 葦図

小間

濃茶

掛物

良祐筆 春日懷紙 暁郭公 寄衣恋

河瀬家伝来

ありあけの 月にのこれる ほとどぎす

なきてすぎぬる あとのかたみに

いかにせん 塩やくあまの ふぢごろも

ぬるとはみえて あはぬおもひを

一風 奈良印金 上下 袍裂

花入

信楽 十一角面取

大原家伝来

釜

肩衝焼口筒 鉦付蜻蛉 浄林作

大原家伝来

風炉

唐銅雲龍

水指

御菩薩焼 透シ鉢

茶器

金輪寺 利休在判 了々斎箱

半床庵伝来

仕覆 日野間道 嵯峨桐金襴紙更紗 丹地蜀巴

茶碗

彫三島 銘内海

出帛紗

白地唐草文金更紗

茶杓

仙叟作 共筒 銘一笑 箱六閑齋

鴻池家伝来

広間 薄茶

掛物

光琳筆 鷄図

花入

時代 竹組大籠

脇

木彫 蔵王権現像

釜

平丸羽釜 古浄元作

天野家伝来

風炉

唐銅朝鮮 初代寒雉作

天野家伝来

風炉先

法隆寺 半蒔古材

棚

木地長板

水指

南蛮写平 妙全作 蓋 一閑作

茶器

粉溜 桔梗文蒔絵平棗 春正作

茶碗

道入作 黒柴 銘漁舟 啐啄斎箱

替

珠光青磁写 道八作

菓子器

金縁舟型ギヤマン鉢 バカラ社製

干菓子器

杉木地 葵文箔置丸盆

懷石

向付

楽 棕櫚皿 一入作

煮物椀

笹露蒔絵 宗哲作

焼物鉢

絵志野 山水図鉢

強肴鉢

色絵鉢 イラン製

同

呉須赤絵 魁鉢

酒盗入

金縁蓋付ギヤマン鉢

徳利

ガラス 岩田藤七作

古備前 饅頭拔ケ

盃

斑唐津

古染付 松鶴図

銀化手付 ペルシヤ出土

江戸青硝子

披きの間

掛物

仙崖筆 茶摘問答

五月十四日マデ

同

関雪筆 長刀鉾 繪賛 五月十六日ヨリ

脇

五輪塔 太宰府 宝満山 出土

## 今回の展示について

「薰風自南来 殿閣生微涼」の語句は、夏へ向つての  
呈茶席でよくみかける掛物です。唐の文宗皇帝が「人  
は皆炎熱に苦しむも 我は夏日の長きを愛す」と詠じ  
たのをうけて、文人・柳公権が吟じた句だといわれて  
います。

今回の展示は、この詩より題をいただいて五、六月の  
小間での濃茶、動座しての広間での懐石と薄茶を中心  
に、そのあらましを取り合わせてみました。

そのおつもりでご覧くださいませ。

## 北村美術館

京都市上京区河原町今出川南一筋目東入ル

TEL (075) 256-0637